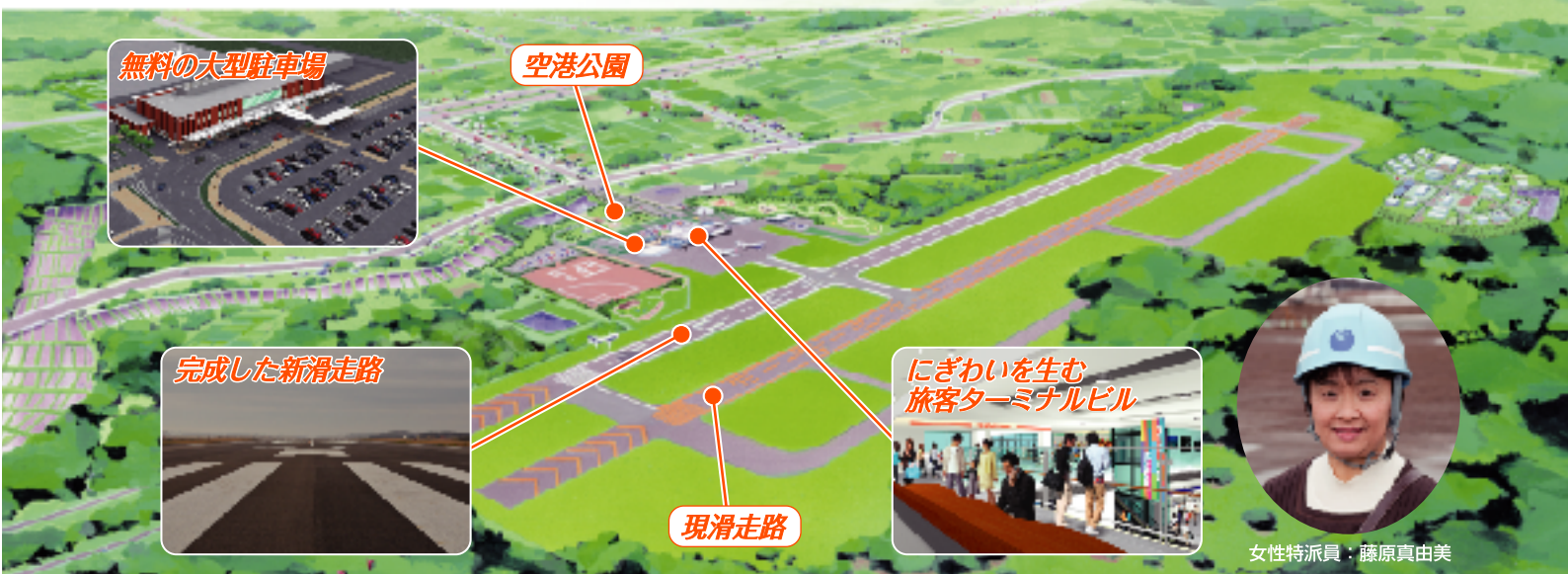




茨城空港、2010年3月開港！

首都圏第3の空港として重要な役割を果たすことが期待される「茨城空港」。アジアナ航空が就航を表明するなど、今、大きな注目が集まっています。



女性特派員：藤原真由美

茨城空港周辺図



近年、首都圏における航空需要が増加しています。二〇一〇年に羽田空港と成田空港の発着枠が拡大されますが、それでも二〇一一年には国際線の発着枠が足りなくなると予想されています。首都圏には、羽田・成田に次ぐ、航空需要の一翼を担う第三の空港が必要となっています。一方、茨城県を含む北関東地域は最寄りの空港まで二〜三時間もかかる「空港空白地帯」と呼ばれています。最寄り空港までのアクセスが不便な地域であるため、空港までの移動に多くの時間を要し、経費もかさむこととなります。北関東地域に空港が整備されればこうした問題が解消され、地域の方々の利便性の向上に役立ちます。そのため、小美玉市にある航空自衛隊百里飛行場に民間航空機も乗り入れできるよう、整備が進められて

茨城空港 ～首都圏第三の空港～

います。既存の飛行場施設を利用して空港整備をすると、費用が安く抑えられます。空港の愛称は、一般公募で「茨城空港」と決定しています。茨城空港の開港により、茨城県から多くの人が飛行機を利用して国内外に行けるようになるのはもちろん、観光客など茨城県を訪れる人も増えそうです。また、茨城港など海の物流ルートと北関東自動車道など陸の物流ルートに新たな空のルートが加わり、物流の効率化が見込まれます。就航先との交流や茨城県の認知度アップなども期待されることです。

茨城空港の可能性



首都圏の国際航空需要が急速に伸びていることや、LCC※が日本への就航を検討していることなど最近の航空情勢を踏まえて、茨城空港ではさまざまな取り組みを行っています。旅客ターミナルビルについては、搭乗橋をわずタラップによる乗降などLCCにも対応できる工夫をしています。また、出発ロビーが二階、到着ロビーは一階と別々の階に分かれるのが一般的ですが、茨城空港では出発・到着ロビーを一階に集約して、短時間で楽に移動できる構造にしています。就航路線については、国内線はもとよりLCCを含めた国際線に対しても、就航を働きかけています。海

※LCC:Low-Cost Carrier(格安航空会社)の略

技能五輪・アビリンピック いばらき大会2009

—いばらきで 未来へ競う 夢の技—

技能五輪:平成21年10月23日(金)~26日(月)

アビリンピック:平成21年10月30日(金)~11月1日(日)

技能五輪「レストランサービス」職種

この職種では、6つの課題に沿って、テーブルセッティング、ワイン・カクテル・料理などのサービス、デクパージュ※といった技能を競います。

ホテルテラスザ

ガーデン水戸では、技能五輪出場に向け、ホテル内の各エキスパートの指導の下、3人の従業員が日々練習を重ねています。「目標は上位入賞」と語る彼らの、手際のよいサービスからは、プロの技とおもてなしの心が感じられました。大会まであと半年余り、さらに技を磨いた彼らの活躍が楽しみです。



(土屋香映)

※お客さまの前で料理を切り分けてサービスすること



技能五輪・アビリンピックいばらき大会2009
推進協議会事務局

☎029(301)3660 ㉰3669

http://www.pref.ibaraki.jp/ginougorin-abilympic/

外の航空会社は、茨城空港が東京に近いことや低コストで運航可能などと、また茨城県が観光資源に恵まれていることなどに対して高い関心を示しています。

主要都市からのアクセス時間(片道)

主要都市から	羽田空港まで	茨城空港へは
水戸市	約150分	120分短縮 約30分
日立市	約175分	120分短縮 約55分
筑西市	約165分	110分短縮 約55分
つくば市	約115分	70分短縮 約45分
宇都宮市	約165分	100分短縮 約65分
前橋市	約165分	50分短縮 約115分

北関東自動車道や東関東自動車道水戸線など、茨城空港へのアクセス道路の整備も進んでいます。アクセスが良くなると、茨城県だけでなく栃木県・群馬県の方々にとっても空港が身近になります。空港から自動車で一時間以内の圏域には約三四十万人もの人口があり、多くの利用客が期待できます。茨城県から栃木県・群馬

空港整備が進行中



さて、開港が一年後に迫った現地の様子はどうなっているでしょうか。広い敷地のあちこちで多くの関係者の方々が工事を行っています。新滑走路とエプロン(駐機場)はもう完成していました。長さ二千七百メートルの新滑走路は、発着の衝撃に耐えられるよう一・七メートルの厚みを持たせています。広さ約二ヘクタール

県をまたぐ北関東の観光地巡りなども定着しそうです。茨城空港利用促進のため、県では県内外のイベントなどでPR活動を行っています。今後はさらに栃木県・群馬県での街頭キャンペーンも実施する予定です。空港を通じて北関東地域全体を活性化させる新しい流れを感じます。

アジアナ航空就航決定!

茨城—ソウル便を毎日運航
釜山便運航も計画

先月、韓国のアジアナ航空が茨城空港への就航を表明しました。ソウル便を1日1便運航するほか、開港数ヶ月後の週3便程度の釜山便運航も計画しています。アジアナ航空の路線開設は韓国との相互交流の活性化に寄与すると期待されており、これを契機として茨城空港のさらなる路線拡充につなげていきます。



ルのエプロンは、飛行機が駐機して乗客を乗降させるために使われます。エアフロントの整備も急ピッチで進行中です。旅客ターミナルビルでは県産品の紹介や空港関連グッズの販売なども予定しており、にぎわいを生み出しそうです。駐車場は約千三百台も駐車できるゆとりの広さ。しかも駐車料金は無料です。自然林の一部を生かした空港公園には県産石材で「IBARAKI」の文字をかたどった築山や、県の形を模した調整池なども整備されます。また、建造物は自然に近い色に塗装され、景観を損なわないよう配慮されます。晴れた日には筑波山の眺望も楽しめる自然美にあふれた空間は、空港利用者だけでなく近隣の方々

県空港対策課
☎029(301)2761 ㉰2749

にとっても想いの場となることでしよう。茨城空港が「人」「もの」「情報」の交流の中心になって、多くの人に「茨城」を発信する基地となるのを願うとともに、県民による空港の利活用が県のイメージアップにつながることを期待したいです。



整備工事が急ピッチで進んでいます(後方はエプロン)